

東北大豆セミナーinみやぎ 開催要領

1. 背景及び開催趣旨

東北における大豆の作付面積は、国産大豆の需要が高まっていることなどから増加傾向にあり、平成30年産は東北6県合計で35,400haとなり、全国の作付面積の約24%を占めています。一方で、平均収量が143 kg/10aと全国の167 kg/10aを下回り低水準となっている等の課題もあります。

このため、本セミナーでは大豆生産力の拡大に向け、「平成30年度全国豆類経営改善共励会」で優秀な経営が認められた優良事例の紹介、品質やブランド力など「強み」のある大豆生産につながる産地実需者からの国産大豆に対する要望提示、大豆の単収維持向上に係る最新の研究成果や栽培技術の紹介などに加え、宮城県内の優良事例や震災復興による大規模経営などの最新の取組について現地調査を実施し、東北地域における大豆生産者等の意識及び技術力向上を図るものとします。

2. 日 時 令和元年8月30日(金曜日) 13:00～17:00

3. 場 所 (会場) 東松島市矢本東市民センター多目的ホール及び現地ほ場
(住所) 宮城県東松島市小松字下浮足 115
(電話) 0225-82-1180
*現地ほ場は、登米市及び石巻市

4. 参集範囲 生産者、生産者団体、普及組織、試験研究機関、行政機関等

5. 主 催 東北地域大豆振興協議会、(一社)全国農業改良普及支援協会、宮城県

6. 内 容

(1) 室内検討(矢本東市民センター多目的ホール) (13:00～14:20)

1) 第14回東北大豆ピカイチ大賞表彰式

『ピカイチ大賞受賞者大豆栽培取組事例紹介』

かわさき おさむ
川崎 修 氏(山形県東置賜郡川西町)

(平成30年度「全国豆類経営改善共励会」全国農業協同組合連合会会長賞受賞)

2) 実需者及び学術研究者からの情報提供

①「大豆情勢とニーズ」

全国農業協同組合連合会麦類農産部東日本麦類農産事業所 なかざわ あきら
中澤 章 氏

②「ダイズ多収の考え方」

東北大学名誉教授 こくぶん まきえ
國分 牧衛 氏

(2) 現地調査 (14:50～17:00)

1) 「安定生産に向けた緑肥すき込みの取組」

登米市 豊里町転作集団連絡協議会ほ場（登米市豊里町）

2) 「大豆の多収に向けた取組」

登米市 株式会社たいらほ場（登米市米山町）

3) 「適期作業励行による管内トップクラスの収量確保」

石巻市 農事組合法人水沼ファームほ場（石巻市高木）

7. 定 員 200 名

8. 参 加 費 無料

9. 集合場所

室内検討会会場「矢本東市民センター多目的ホール」に13時集合。

※現地調査ほ場には、「室内検討会」終了後、参加者全員が貸切バスで移動します。

現地調査終了後、バスは「矢本東市民センター」及び「JR 東矢本駅」まで参加者を送ります。現地での交通の混雑が予想されることから、現地調査でのマイカーでの移動はご遠慮ください。

10. 参加申込

(1) 『東北大豆セミナーin みやぎ』への参加希望者は、令和元年8月19日(月)までに、インターネット又はファクシミリにてお申込みください。お申し込みによって得られた個人情報厳重に管理し、東北大豆セミナーの運営に限り利用いたします。

① インターネットによる場合

下記ホームページの申込フォームよりお申込みください。

<https://www.contactus.maff.go.jp/j/tohoku/form/sinko/190801.html>

② ファクシミリによる場合

別紙「参加申込書」に必要事項をご記入の上、下記＜申込み・問い合わせ先＞にお申込ください。

(2) 定員（200名）に達した場合は、締め切りとさせていただきます。定員を超え参加いただけない場合は令和元年8月23日（金）までに電話又はファクシミリにて事務局より御連絡いたします。参加いただける場合には御連絡いたしませんのでご了承ください。

11. ＜申込・問い合わせ先＞

（東北地域大豆振興協議会事務局）

東北農政局生産部生産振興課 水越、佐々木

〒980-0014 宮城県仙台市青葉区本町3丁目3番1号

TEL:022-263-1111（内線4112）

FAX:022-217-4180